

授業科目名	日常生活援助論	担当教員	◎鶴沢淳子、休波茂子、 渡邊八重子、有家香
必修	開講年次：1年後期	単位：2単位	授業形態：演習 60時間

【授業概要】

基礎看護の技術の実習は、シミュレーション実習室にて、観察技術、感染予防技術、クライアントの環境の整備やプライバシーの保護、身体の清潔、睡眠、移動、衣生活、食事、排泄などの日常生活援助技術を学ぶ。また援助に伴う患者の心理を考慮した援助方法を学ぶ。

【授業目的・目標】

1. 日常生活に必要な基礎的生活援助技術とそのエビデンスを学習する。
2. 看護に伴う感染予防技術を習得する。
3. 看護に必要な観察の技術を習得する。
4. 看護技術の原理・原則を理解し、日常生活行動に関わる基本的技術を習得する。

【履修条件】

特になし

【授業計画】

[01] 日常生活援助とは	(鶴沢)
[02] 演習：効果的で安楽な動きをつくり出す技術	(鶴沢・休波・渡邊・有家)
[03] 環境整備/療養生活の概念と病床環境	(鶴沢)
[04] 演習：環境整備 (ベッドメイキング)	(鶴沢・休波・渡邊・有家)
[05] 課題演習：臥床患者のシーツ交換と環境整備の実際	(鶴沢・休波・渡邊・有家)
[06] バイタルサインとは	(鶴沢)
[07] 演習：バイタルサインの測定①	(鶴沢・休波・渡邊・有家)
[08] 演習：バイタルサインの測定②	(鶴沢・休波・渡邊・有家)
[09] 課題演習：バイタルサインの測定と電法の実際	(鶴沢・休波・渡邊・有家)
[10] 活動と休息/移動・移送に関する技術	(鶴沢)
[11] 演習：体位変換	(鶴沢・休波・渡邊・有家)
[12] 演習：車椅子とストレッチャーへの移動・移送	(鶴沢・休波・渡邊・有家)
[13] 技術試験 [バイタルサインの測定]	(鶴沢・休波・渡邊・有家)
[14] 統合演習 (1)	(鶴沢・休波・渡邊・有家)
[15] 統合演習 (1)	(鶴沢・休波・渡邊・有家)
[16] 食事の援助	(鶴沢)
[17] 演習：食事介助の必要な対象者への援助	(鶴沢・休波・渡邊・有家)
[18] 排泄の援助	(鶴沢)
[19] 演習：床上排泄の援助	(鶴沢・休波・渡邊・有家)
[20] 清潔の援助	(有家)
[21] 演習：全身清拭	(有家・休波・渡邊・有家)
[22] 演習：全身清拭	(有家・休波・渡邊・有家)
[23] 課題演習：全身清拭と寝衣交換の実際	(有家・休波・渡邊・有家)
[24] 演習：洗髪	(有家・休波・渡邊・有家)
[25] 演習：手浴・足浴	(有家・休波・渡邊・有家)
[26] 演習：陰部洗浄	(有家・休波・渡邊・有家)
[27] 演習：整容・口腔ケア	(有家・休波・渡邊・有家)
[28] 技術試験 [清潔の援助]	(有家・休波・渡邊・有家)
[29] 統合演習 (2)	(鶴沢・休波・渡邊・有家)
[30] 統合演習 (2)	(鶴沢・休波・渡邊・有家)

【教科書】

1. 深井喜代子他編集 (2017) 新体系看護学全書 基礎看護学②基礎看護学Ⅰ. 第4版, メヂカルフレンド社.
2. 深井喜代子他編集 (2017) 新体系看護学全書 基礎看護学③基礎看護学Ⅱ. 第4版, メヂカルフレンド社.

【参考書】

1. 竹尾恵子監修 (2015) 看護技術プラクティス 第3版, 学研メディカル秀潤社.
 2. 医療情報科学研究所編 (2014) 看護技術がみえる vol.1 基礎看護技術, メディックメディア.
 3. 志自岐康子他編集 (2017) 基礎看護学③ 基礎看護技術, MC メディカ出版
 4. 阿曾洋子他 著 (2011) 基礎看護技術. 第7版, 医学書院
 5. 有田清子他 著 (2017) 系統看護学講座 専門分野Ⅰ 基礎看護学[3]基礎看護技術Ⅱ, 第17版, 医学書院.
- *その他講義中に適宜提示

【評価方法・評価基準】

課題レポート (10%) 講義時間内小テスト (10%) 筆記試験 (60%) 技術試験 (20%)

【講義のために必要な事前・事後学習】

事前学習：授業前に提示された事前課題を行うこと。
事後学習：授業で使用した資料をもとに学習した内容の復習と課題の記述を行うこと。

【教育目標 (必須要素) との関連】

この科目は、教育目標の必須要素Ⅲ. 根拠に基づいた看護実践能力と関連する。

【試験や課題レポート等に関するフィードバック】

各演習で提出した課題レポートについては教員のコメントを入れ、授業終了後に返却する。

【備考】